

# 温暖化など環境変化憂う

## 八剱神社の宮坂宮司御神渡り講演



地域づくりネット県協議会諏訪支部講演会で話す宮坂清宮司

地域づくりネット  
県協議会諏訪支部

地域づくりネットワーク県

協議会諏訪支部(朝倉清会長)  
は23日、講演会「豊かな諏訪づ

くりをみんなの力で」を、茅野  
市のゆいわく茅野で開いた。

諏訪湖の御神渡り(御渡り)

の判定と神事をつかさどる八

剱神社(諏訪市)の宮坂清宮司  
が「御神渡り記録をみる」と  
題して、御神渡りと環境変化  
の歴史などについて話した。

宮坂宮司は、期待を寄せつ

つも5季連続で御神渡りが出  
現せず「明けの海」となった

今季の観察や過去の状況を、  
御神渡り出現と気温のデータ  
や、50年ごとにまとめた明け

の海の回数のグラフ、諏訪湖  
と高島城周辺の古地図などを  
用いながら説明。1440年  
ごろから1950年までほぼ  
毎年できた拝観が近年はほと  
んどできず、地球温暖化など  
の環境変化を憂いた。

御神渡りを書き留めた「御  
渡帳」には、明けの海の17  
59年に高島藩主の江戸幕府  
への献上品「氷餅」の作製が  
城内や御射山神戸、角間新田  
でもできず、霧ヶ峰に小屋を  
作りやっどできたという興味  
深い記録もあり、冬の寒さの  
重要さがうかがえた。

宮坂宮司は「今年も寒い中、  
取材を受け、差し入れのコー  
ヒーを飲み、昔の人がどんな  
思いで結水を待ち望み、春を  
迎えたかなどを話した」と振  
り返り「節分を過ぎるとつぼ  
みは膨らみ自然は正直。諏訪  
には素晴らしいものがたくさ  
んある。足元から発見して、  
まちづくりの力にしてほし  
い」と締めくくった。

この日は元信州大学農学部  
特任教授で東京生薬協会の小  
谷宗司さんの「葉草が八ヶ岳  
山麓の農業を救う!!」と題し

た講演や、県地域発元気づく  
り支援金を活用して事業を行  
う、原村葉草栽培促進会の紹  
介もあった。会員や一般約30  
人が聴講した。(武井葉子)